

地域を彩る食物語～大学からの発信 こだわりのあるおいしいもの!!～

日時:平成28年1月13日(水)～14日(木)

会場:コミュニティプラザパラボ 5階催事場

主催:北見市産学官連携推進協議会

共催:北見工業大学

「地域を彩る食物語」は、各地域の大学が実施している食農人材養成事業の成果品等を発表するとともに、食農人材養成事業について市民へ周知することを目的として開催している。

本イベントは高知物産展にあわせて、今年で6回目の開催となる。

北見工業大学、帯広畜産大学、東京農業大学、日本赤十字北海道看護大学、名寄市立大学、宇都宮大学、豊橋科学技術大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、長崎大学、鹿児島大学の12大学と、(公財)オホーツク地域振興機構、北海道農政事務所北見地域センターの2機関が参加し、各地域の大学・機関による成果発表、開発商品の試食、商品PR、ブースプレゼンテーション、パネル展示などが行われた。

また本年は、オホーツク総合振興局の<地域づくり総合交付金>による協力も頂き、以下の3つの講演会を開催した。

「十勝の農業と農業機械の研究事例」

帯広畜産大学 畜産学部 教授 佐藤 禎稔 氏

「世界の肥満と戦う希少糖と温暖化と戦うワイン用ブドウ」

香川大学 社会連携・知的財産センター 副センター長

准教授 永富 太一 氏

「オホーツク地域から発信する農業・機械・情報産業の集積と融合による次世代農業の可能性」

北見工業大学 機械工学科 准教授 星野 洋平 氏

これに加え、北見工業大学、帯広畜産大学の人材育成事業受講生(修了生含む)が平成27年度の研究・活動内容の発表等を行い、商品化過程、今後の取り組みなどについて紹介した。

事業報告



事業報告



事業報告

